

「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」 事業報告書

1 / 2

団体名	特定非営利活動法人小樽青少年科学技術の芽を育てる会			
事業名	まちかど科学実験・工作教室			
実施期間	令和2年8月10日、10月18日、11月29日、12月20日			
事業の目的及び期待する効果	<p>令和元年度より始まった第7次小樽市総合計画における「まちづくり6つのテーマ」の最初に「子ども・子育て」があげられています。本事業は、小樽の子ども達に科学・工作体験をしてもらうことを通じて、令和2年度より順次始まる新学習指導要領で謳われている「論理的思考」や「知的探究心」など、これからの小樽を作る子ども達に必要な資質・能力を陶冶することを目的とします。また、本事業を児童館や美術館を会場として行うことにより、小樽の子ども達に学校や家庭以外にも、楽しく過ごせる場所があることを知ってもらい、「小樽の子ども達の居場所作り」の一助となることも目的に実施します。</p> <p>本事業では、学校の授業では材料・器具の入手や実験・工作後の後始末の点などで取り上げにくいテーマ（液体窒素、ドライアイスを使った実験、木工工作）を取り上げます。子ども達一人ずつに実験や工作の材料・器具を用意することによって、「自分の力で出来た」、「実験やものづくりで楽しかった」という「成功体験」を通して、筋道立てて物事を考える「論理的思考」の習得と、もっと学びたいという「知的探究心」の醸成が期待できます。また、美術館における工作教室の際には、美術館や併設する文学館の展示を観覧することも同時に行うことにより、新しい発想を得る手がかりにしてもらい、子ども達が小樽に関する文化芸術に親しむ新たな機会の創出も期待されます。</p>			
実施額	事業費	350,000 円(申請時)	助成額	300,000 円(申請時)
事業内容	<p>本事業では、小・中学生向けの実験・工作教室を、令和2年8月から12月の期間において、計4日間(1回の教室は、同内容で午前と午後の2回行うため、延べ8回)開催しました。</p> <p>1, 4回目は木工工作教室(会場:市立小樽美術館)、2, 3回目は科学実験教室(会場:小樽市とみおか児童館)を行いました。</p> <p>1回目(木工教室1回目):美術館の小樽の自然や建物をテーマにした絵画を観覧後に、小樽のイメージを木工工作として表現・作製してもらいました。</p> <p>2回目(実験教室1回目):ドライアイスや水を使い、温度変化による身近な物質の三態について参加者の手で実験を行い学んでももらいました。</p> <p>3回目(実験教室2回目):液体窒素や酸素を使い、極低温下における物質の振る舞いについて参加者の手で実験を行い学んでももらいました。</p> <p>4回目(木工教室2回目):日本を代表する風景画家中村善策の作品を観覧後、干支の牛のイメージを木工工作として表現・作製してもらいました。</p> <p>本事業は、必要な機材や試薬等を全て当団体で準備することで、参加者の持参物等は必要なく、気軽に木工工作、科学体験をできるようにと考えて実施しました。</p>			

○内容が分かる「資料やチラシ等」を添付してください

月日	内容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
8月10日	第1回「まちかど科学実験・工作教室」 まちかど子ども木工アートスタジオ 2020 夏 ～小樽の自然や建造物～	30人	25人
10月18日	第2回「まちかど科学実験・工作教室」～低温を 体験しよう①～ドライアイスで実験してみよう！	30人	11人
11月29日	第3回「まちかど科学実験・工作教室」～低温を 体験しよう②～液体窒素で実験してみよう！	30人	7人
12月20日	第4回「まちかど科学実験・工作教室」 まちかど子ども木工アートスタジオ 2020 冬 ～干支をテーマにした木工工作～	30人	25人

○事業評価について

1. 事業の目的の達成度

実施した各回とも、全参加者が、木工工作の作品制作、科学実験を最後まで完成・実施することができた。本事業では、各回とも「こうすれば良い」という「作成例・解答例」を用意することなく、自ら考える機会を設けた。この結果、講師から教わるだけでなく、自分で工作案をゼロから考える・実験の結果を考えてから実験を行うという「自ら考え、検証する」能動的学修経験を積めたのではないかと考えている。これらのことから、本事業の目的である子ども達が、「自分の力で出来た」、「実験やものづくりで楽しかった」という「成功体験」を通して、筋道立てて物事を考える「論理的思考」の習得と、もっと学びたいという「知的探究心」を醸成することがおおむね達成できたと考えている。

また、各回参加者には、市立小樽美術館やとみおか児童館に初めてきたと答えた児童が複数名おり、小樽市の文化施設を知ってもらうことにより、「小樽の子ども達の居場所作り」の一助となることも達成できたと考えている。

2. 参加した方々や、周辺の方々の満足度

各回の教室終了後に、参加した子ども達、参観した保護者にそれぞれアンケートを実施したところ、子ども達・保護者ともに毎回9割以上が、「また参加したい」「また参加させたい」と回答した。このことより、参加者が各回の体験教室に満足し、十分な満足度が得られていると考えている。

3. 今後の事業について

今後の事業については、今年度の教室を継続して行いたいと考えている。特に今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により各回参加人数について当初計画から削減を余儀なくされた。直前に市内小学校で休校があった3回目実施時には、新型コロナウイルス感染症の影響を理由に欠席する参加者が複数名いた。来年度も、消毒・換気、三密回避や新北海道スタイルを遵守し、より大勢の子ども達が安心して参加できるように一層工夫しながら本事業を続けていきたいと考えている。

4. 「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」に関する要望事項等

年末まで事業を行う関係から、報告会は出来れば2月以降に開催して頂けると、助かります。